2020年(令和2年)10月1日

近畿本部 衛生工学部会 第35回例会の御案内

近畿本部 衛生工学部会 部会長 助宮賢治

近畿本部 衛生工学部会 令和2年度第35回例会を下記要領で行います。ご参加頂きますよう御案内致します。興味をお持ちの知人・友人へ 声かけもお願いいたします。

— 記 —

1. 日時：2020年(令和2年)10月31日(土) 14:00~15:00

2. 場所：ZOOMを使ったWEB会議方式

参加希望者には、開始日前日までにWEB会議のURLリンク情報を送付します

3. 参加費：無料

4. 講演：14:00~15:00

題目：流動床式焼却からガス化溶融、ガス化燃焼への技術展開

講師：坂田 和昭

概要：一般廃棄物処理施設はストーカ式焼却炉が主流を占めていますが、1990年代後半にダイオキシン類の抑制、最終処分場の延命化及び低空気比燃焼によるNO_x低減を目的として次世代型ガス化溶融炉の開発が進められてきました。一時期30社を超えるメーカーが開発に着手しました。高温での運転によるトラブルなどで撤退する会社もありましたが、今日では国内の一般廃棄物処理施設の約10%がガス化溶融施設となっています。今回は、ガス化溶融施設の中の流動床式ガス化溶融の特長とその稼働施設について紹介します。

略歴：1980年 京都大学大学院工学研究科衛生工学専攻修士課程修了。同年、(株)神戸製鋼所入社、2003年から(株)神鋼環境ソリューションにて、一般廃棄物処理プラント(流動床式焼却炉及びガス化溶融炉)の設計業務及び建設プロジェクトに従事。また、同社デュッセルドルフ事務所にて欧州の環境関係技術調査に従事。その間、岐阜大学非常勤講師、廃棄物3R研究財団理事などを歴任。

資格：技術士(衛生工学部門)、一級土木施工管理技士、一級管工事施工管理技士、一級電気工事施工管理技士。

5. 参加申込：

参加申込は下記までお願いいたします。

メール送付先：guitars_cadillacs_etc@yahoo.co.jp (助宮アドレス)

件名に【10月例会】を付けてください

氏名、技術部門、およびメールアドレスを記載して下さい。

参加希望者多数の場合には募集を打ち切る場合があります。

6. 申込締切：10月28日(水)とします。

—以上—